

新しい地域づくりビジョン論点整理資料の概要（第1回有識者懇談会提出資料のポイント）

1. 2030年の愛知の展望

超高齢社会・人口減少の進行

- 本県は2015年を境に人口減少社会に
- 団塊の世代が80歳以上となり、高齢者は大幅に増加
- 単身世帯数が増加

グローバル経済の進展

- アジアが最大の経済圏に
- 世界経済の中での日本のプレゼンス低下
- 世界経済は経済連携協定等の進展により相互依存関係を深化しながら、フラット化が進展

災害リスク・環境エネルギーリスク

- 南海トラフの巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況
- 社会資本が更新時期を迎える
- 化石燃料や食料、水資源の世界的な獲得競争が激化

リニアの開業インパクト

- リニアの開業により、5千万人の巨大な大都市圏が形成
- 交流圏が大幅に拡大
- 東海道新幹線がローカル線化

2. 愛知の強みと弱みの分析

	愛知の強み	愛知の弱み
県民生活	<ul style="list-style-type: none"> ○大都市部としては、家族や地縁社会が残る ○比較的バランスの良い人口構成 ○比較的中間層が厚い 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者数は今後大きく増加 ○出産・育児期の女性労働力率が低い ○外国人の定住化が進む中で、日本語や生活環境に馴染めない県民が増加 ○交通事故、犯罪の多さ
産業経済	<ul style="list-style-type: none"> ○輸出競争力 ○モノづくり機能をフルセットで備える ○モノづくり現場を支える人材の蓄積 ○交通条件など優れた立地環境 ○多様な農林水産物の生産力 	<ul style="list-style-type: none"> ○為替や世界経済の動向に左右されやすい産業構造 ○自動車産業への依存 ○起業率の低さ ○農林水産物のブランド力の弱さ
県土基盤	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の真ん中に位置 ○恵まれた広域幹線道路ネットワーク ○名古屋中心からアクセスの良い空港、港湾 ○大都市機能と自然を併せ持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○空港、港湾利用後背圏の狭さ ○巨大地震等の自然災害の脅威 ○地域独自の魅力や発信力の不足 ○車社会のため、住宅地が郊外に拡散 ○社会資本の更新時期が一斉に到来

3. 愛知の将来像を考える上での視点

- ◆中間層が厚い社会にすべきではないか。
- ◆行き過ぎた個人主義に陥ることなく、家族・地域における責任を尊重する社会にすべきではないか。
- ◆「人生90年時代」に向け、健康寿命を伸ばし、安心して生きられる社会を作っていくべきではないか。
- ◆フルセット、すり合わせ型のモノづくり力を生かしていくべきではないか。
- ◆海外で稼ぐ力を強くするべきではないか。
- ◆モノづくり人材の蓄積、比較的若い人口構成を生かしていくべきではないか。
- ◆リニア大都市圏の西の拠点として、後背圏を拡大すべきではないか。
- ◆低コストで、持続可能な次世代インフラへの更新を計画的に進めていくべきではないか。
- ◆外から見た愛知のブランド、存在感を確立すべきではないか。

4. 対応すべき主な課題

- 若者が希望を持ち、生涯キャリアアップしていける社会に向けて
⇒キャリア教育、生涯教育、ワークライフバランスなど
- 全員参加型の包容力ある社会に向けて
⇒障害者、外国人の支援、シニア層の活用など
- 「人生90年時代」の安心・安全社会に向けて
⇒健康寿命の延伸、地域包括ケアの仕組みづくりなど
- 「モノづくり」の力を活かした次世代の産業構造に向けて
⇒自動車産業、航空宇宙産業の支援、企業用地の確保など
- アジアの成長を取り込み、世界で稼げる地域に向けて
⇒企業の海外展開支援、海外からの高度人材受け入れなど
- TPPなどに対応できる競争力ある農林水産業に向けて
⇒農地の大規模化、6次産業化、農産物の輸出など
- 愛知の産業力を支え、グローバルに活躍できる人づくりに向け
⇒グローバル人材の育成、専門高校の教育、英語力の強化など
- リニア大都市圏のゲートウェイにふさわしい圏域に向けて
⇒5千万リニア大都市圏の西側ターミナルとして拠点性の発揮など
- 持続可能な社会、次世代のまちづくりに向け
⇒インフラの長寿命化、災害に強いインフラ、スマートシティなど
- 愛知のブランド力の強化、魅力発信に向けて
⇒愛知のブランドの確立、スポーツイベント等の活用、国際貢献など

有識者懇談会において、愛知の将来像を議論

有識者懇談会及び分科会において、重点的に取り組むべき課題や政策の方向性を議論

※ 地域編については、地域政策懇談会や市町村との意見交換、有識者懇談会の議論等を踏まえ作成